

特 記 仕 様 書

第 1 章 総則

第 1 節 適 用

- 1 本特記仕様書は、三原市皆実五丁目 公共下水道事業 皆実雨水排水ポンプ場土木工事（7-1）に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・土木工事共通仕様書 令和 7 年 8 月 広島版
広島県の調達情報のページ (<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>) - 「技術管理基準等」に掲載している。
 - ・下水道土木工事必携(案) 2021 年度 公益社団法人日本下水道協会
 - ・下水道用設計指針と設計標準図 平成 26 年度改訂版 三原市
 - ・その他関連規格類

第 2 節 現場の管理

受注者は、工事現場内において、管理技術者、主任技術者(下請を含む。)に工事名、工期、顔写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用するものとする。

第 3 節 部分引渡し

建設工事契約約款第 38 条により、本工事の内、部分引渡しの必要が生じた場合は、当該部分の検査を受け部分引渡しを行うこと。

第 4 節 検査

土木工事共通仕様書（令和 7 年 8 月広島版）『第 3 編 1-1-8 技術検査』によるほか、三原市工事検査規程の定めるところによる。

第 5 節 週休 2 日工事等

本工事は、「発注者指定型」による週休 2 日工事等の対象工事であり、実施にあたっては「三原市週休 2 日適用工事等実施要領（土木工事）」に基づき実施するものとする。

第 6 節 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- 1 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正をする工事とする。
- 2 受注者は、補正を希望する場合、監督員と協議すること。
- 3 工事の実施にあたっては「熱中症対策に資する現場管理費の補正の運用について」に基づき、行うこと。

第7節 情報共有システム（設計金額 500 万円以上が対象）

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報交換システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。
- 4 なお、工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は工事成果品 1 部を紙媒体により提出すること。
- 5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第8節 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第 5 4 条に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第9節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
 - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき『法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件』
 - (2) 上記(1)の内容について『不測の事態等が生じた場合の対応方法』
 - (3) 上記(1)、(2)の内容について『現場作業に従事する者に対する周知の方法』
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 『法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件』等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、

変更施工計画書を提出すること。

第10節 建設副産物

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-1-21 建設副産物「4. 再生資源利用計画」、「5. 再生資源利用促進計画」及び「6. 実施書の提出」によらず、次のとおり取り扱う。

1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

第11節 現場代理人の常駐義務の緩和

特記仕様書（共通事項）第1章 総則 第4節 現場代理人の常駐義務の緩和によらず、次のとおり取り扱う。

監督職員等と携帯電話等で常に連絡がとれることに加え、次に掲げるいずれかの事由に該当する場合には、建設工事請負契約約款第10条第3

項に規定する「現場代理人の工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がなく、かつ、発注者との連絡体制が確保されると認めた場合」として取り扱う。

- 1 請負金額が4、000万円（建築一式工事にあつては、8、000万円）未満
- 2 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間
- 3 建設工事請負契約約款第20条第1項又は第2項の規定により、工事の全部の施工を一時中止している期間
- 4 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であつて、工場製作のみが行われている期間
- 5 前3号に掲げる期間のほか、工事現場において作業等が行われていない期間
- 6 その他、特に発注者が認めた期間

第12節 支払い条件等

前払い金及び中間前払い・部分払等の支払いについては、各年度それぞれで行うものとする。

令和7年度は、請負金額の10分の4以内の額とする。

令和8年度は、請負金額の10分の2以内の額（但し、前払金を含めた金額は、請負金額の10分の6以内の額）とする。

第2章 施工条件

第1節 工 程

1 施工時期・時間の制限

時 期	全工事期間
時 間	8：30～17：00

2 地下埋設物・埋蔵文化財の事前調査

調査項目	地下埋設物
調査時期	工事施工前に試掘を行うこと。（支障物件が発見された場合は、監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）
移設時期	必要に応じて、別途協議するものとする。
提出書類	「試掘結果報告書」として、提出するものとする。また、提出部数については監督員の指示によるものとする。

3 工程調整

工事受注後、すみやかに関連工事施工者及び関係機関と工程調整等を実施し、早期着手・早期完成に努めること。また、これらについては、受注者が主体となって協議・調整を行うこと。

4 施工期間

本工事において、不測の事態により工期を延伸する場合、河川区域内における施工を渇水期期間内に完了させること。

5 仮設構造物における工事完了後の引継調整

本工事で施工を行う鋼矢板等のリース料が発生する資材については、工事完了後のリース料の引継ぎなど発注者と協議を行うこと。

6 既設仮設構造物における賃貸借契約の引継調整について

過年度工事で設置を行った仮設材（鋼矢板）のリース料が発生する資材について、工事期間中受注者がリース料を引継ぐこと。

引継ぎ時期については、発注者と協議を行うこと。

第2節 用地

- | | |
|------|--|
| 1 借地 | あらかじめ近隣住民に借地する目的、作業内容を充分説明し、同意を得て借地すること。 |
|------|--|

第3節 公害対策

1 事前・事後調査

調査区分	事前・事後及び工事施工中も大きな被害がある旨の申し出を受けた場合、監督員と協議の上調査すること。
調査時期	施工前・施工中・施工後（1ヶ月以内）
調査内容	柱、屋根、壁、基礎、建具等の傾斜、損傷状況
範囲	別途協議による。

2 公害防止

施工方法	コンクリート破碎等の作業において、民家に隣接しているため、低騒音型機械を使用するものとする。 また、重機運転操作にあたっては、慎重な運転を行うこと。
建設機械・設備	低騒音型機械

第4節 安全対策

1 交通誘導員・保安要員

工事作業期間中の交通誘導員は、重機・機材・材料の出入り等につき、交通誘導員 A を 1 人/日、交通誘導員 B を 2 人/日を見込んでいる。

2 安全管理員

JR に近接する工事を行う際は、一般社団法人日本鉄道施設協会が認定する JR 西日本工事等従事者資格を有する者（工事管理者等）

を配置すること。また、軌道の動態観測については、JR との協議により適切に実施するものとする。

第 5 節 工事用道路

1 一般道路

搬入経路	特に指定しない。
搬入出方法	車両の運転にあたり、速度規制厳守とする。(国道 1 8 5 号までは時速 3 0 k m 以内)
使用期間	工事施工期間
使用時間	8 時 3 0 分～1 7 時
工事中・後の処置	随時 清掃、 工事後 舗装欠損部補修 (工事前・後の写真により監督員と協議すること。設計変更の対象とする。)

第 6 節 建設副産物

1 建設発生土 (搬出) (建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地 (一時たい積))

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地 (一時たい積) のいずれかに搬出するものとする。

また、搬出先として、運搬費と受入費 (平日の受入費用) の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地 (一時たい積) を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用 (単価) は変更しない。

搬出場所 山田建設株式会社リサイクルプラント (三原市糸崎南2糸崎第3野積場)

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地 (一時たい積) への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議するものとする。

2 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外 (建設工事現場以外の場所) において 300m² 以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは 30 日以内に廃止届を提出すること。

ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第 7 節 仮設工

湧水等により、見込んでいる仮設工法が適さない場合や適用できない場合は、任意仮設についても設計変更することができる。

ただし、変更しようとする者は、見込んでいる仮設工法が適用できない根拠を文書等に示すとともに、適した仮設工法の仕様や構造計算書等を添付し、監督員と協議すること。

第8節 その他

1 工事用機資材の仮置き

場 所	指定しない
期 間	指定しない

第3章 設計金額

第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和7年8月広島版）『第1編 1-1-34 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。

なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に参加しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。

なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。

第5章 工事損失等

本工事の施工に伴い、通常避けることのできない地盤沈下、振動等により建物等に損害等（以下「工事損失」という。）が発生した場合においては、次のとおりとする。

なお、工事損失に伴う補償費用は、設計で現場管理費に見込んでいる。

- （1）原因調査 監督員と協力して行なうものとする。
- （2）補償交渉 監督員と協力して処理解決に当るものとする。

- | | |
|--------------|---|
| (3) 応急処置 | 監督員から応急処置を講じる必要があると指示された場合は、直ちに応急処置を講ずるものとする。 |
| (4) 補償費用負担割合 | 発注者は、工事損失に伴う補償費用のうち、請負代金額の100分の1を超える額を負担する。 |

第6章 その他

本工事内及び近接する地域住民、企業等には工事内容等を十分に周知・調整したうえで、苦情やトラブルのないよう施工に努めること。
また、特記仕様書及び設計図書に明示していない事項、または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
処理場・ポンプ場		式		1	レベル1
本体仮設工		式		1	レベル2
土留・仮締切工		式		1	レベル3
仮設鋼矢板(二重締切)		枚		1	レベル4
タイロッド・腹起し		t		8.4	レベル4
中詰盛土		m3		600	レベル4
構造物撤去工		式		1	レベル2
構造物取壊し工		式		1	レベル3
コンクリート構造物取壊し	無筋Co	m3		3	レベル4
根固め袋撤去		個		36	レベル4
大型土のう撤去		式		1	レベル4
運搬処理工		式		1	レベル3
殻運搬	無筋Co殻	m3		3	レベル4
殻処分	無筋Co殻	m3		3	レベル4
残土処理工		式		1	レベル3
仮設工		式		1	レベル2
汚濁防止工		式		1	レベル3

工事数量総括表

頁0 -0002

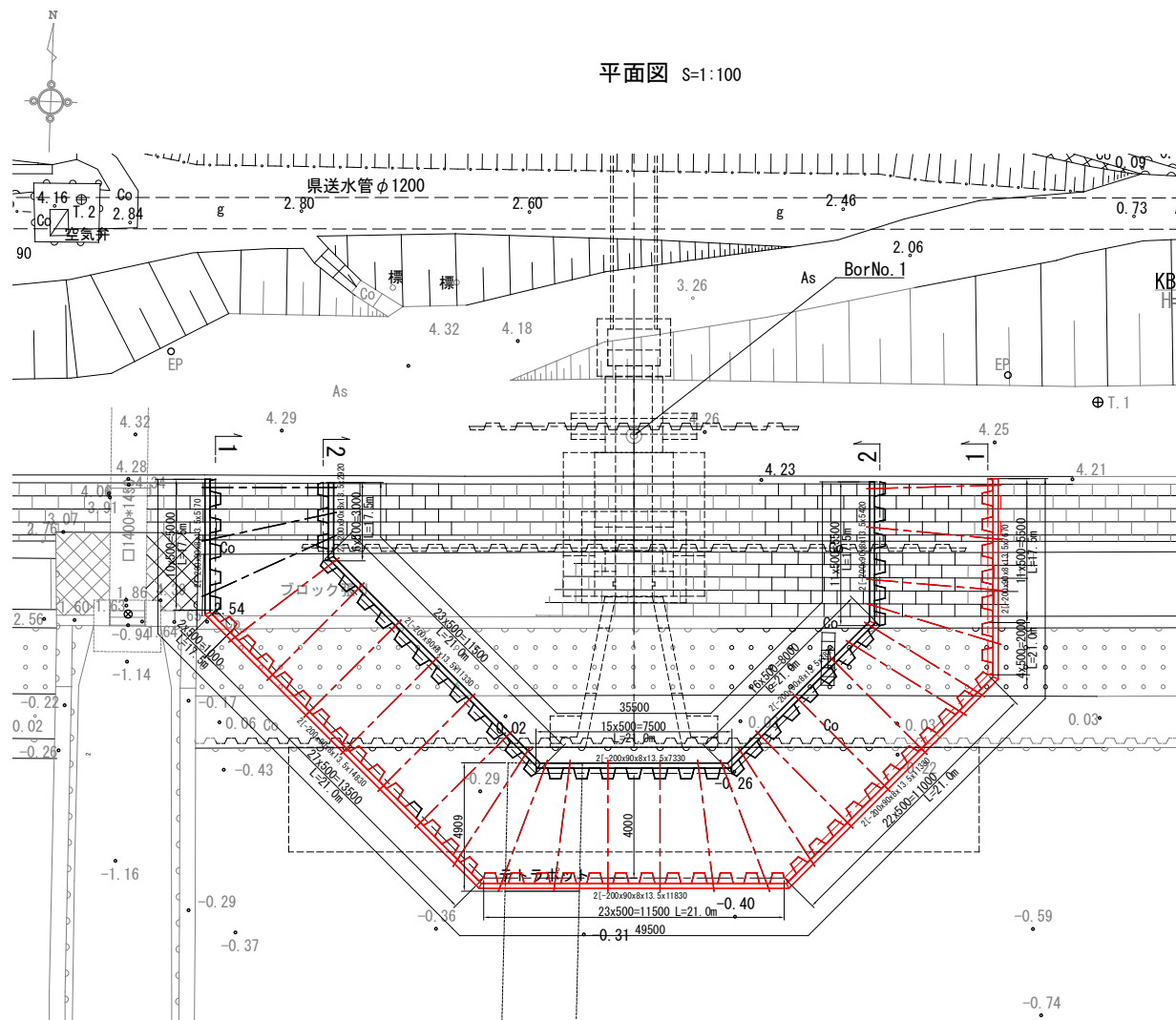
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
交通管理工		式		1	レベル3
交通誘導警備員		式		1	レベル4
※※直接工事費※※					
運搬費					
運搬費		式		1	レベル2
運搬費		式		1	レベル3
重建設機械分解組立輸送費		回		1	レベル4
安全費					
安全費		式		1	レベル2
安全費		式		1	レベル3
安全管理員		式		1	レベル4
共通仮設費率分					
※※共通仮設費計※※					
※※純工事費※※					
現場管理費					
※※工事原価※※					
一般管理費率分					
契約保証費					

工事数量総括表

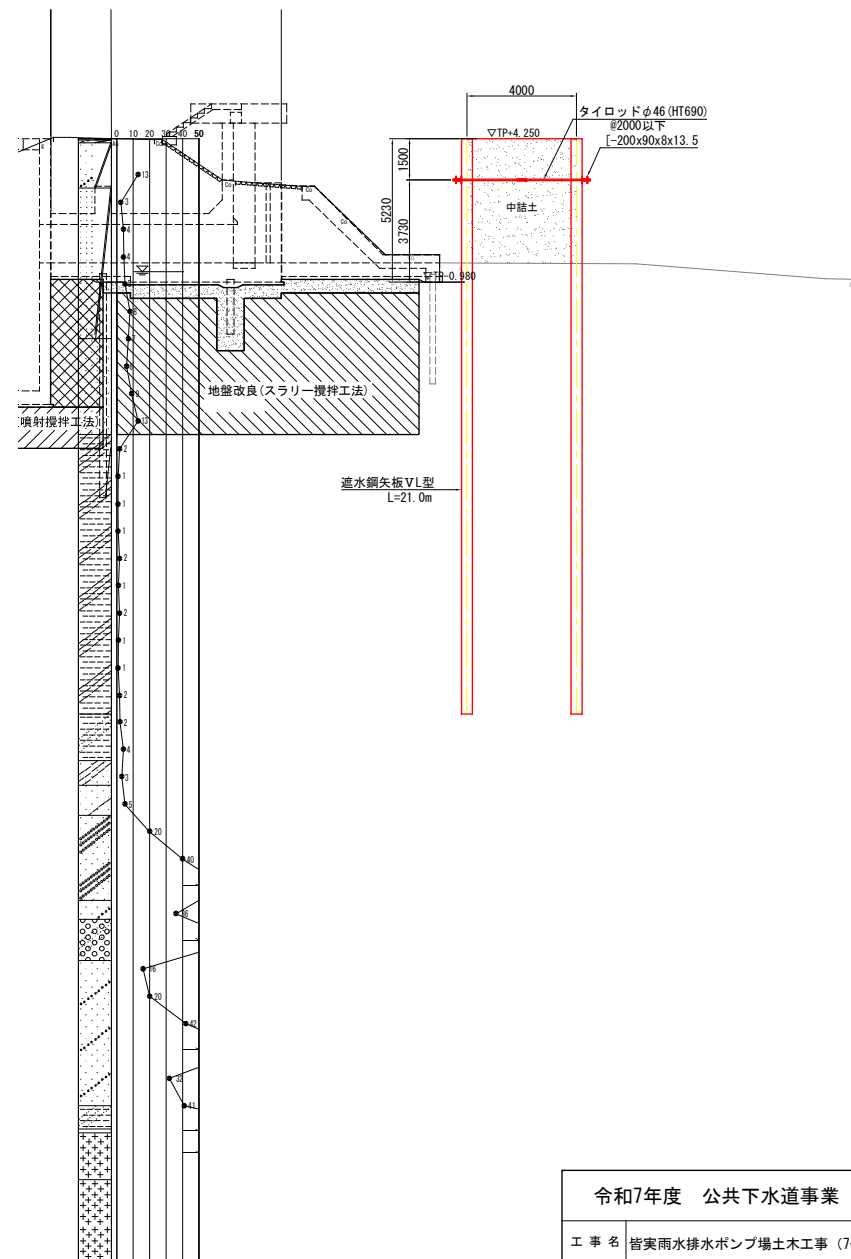
頁0 -0003

[illegible]

平面図 S=1:100



断面図 S=1:50



令和7年度 公共下水道事業

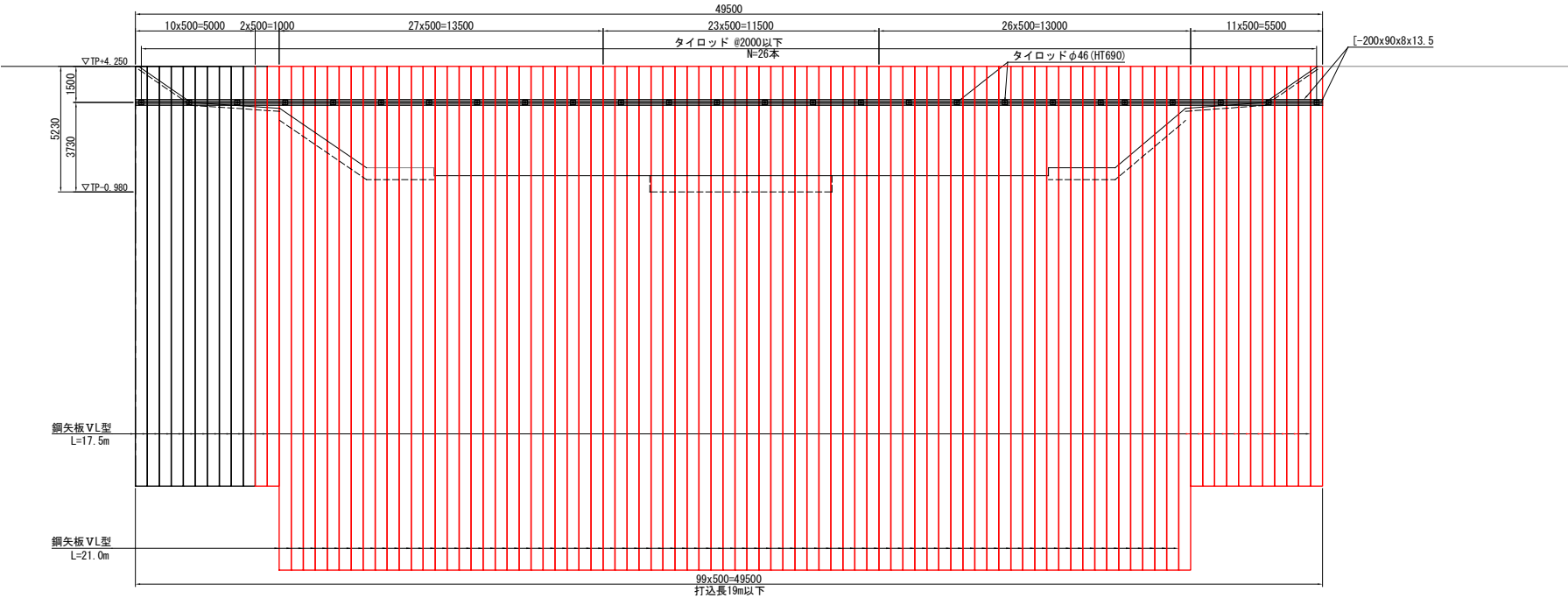
工事名	皆実雨水排水ポンプ場土木工事 (7-1)		
工事場所	三原市皆実五丁目		
図面番号	1	縮尺	図示
二重締切平面図・断面図			
三原市			

※鋼矢板継手部は、矢板頭部から50cm程度溶接して連結固定すること。

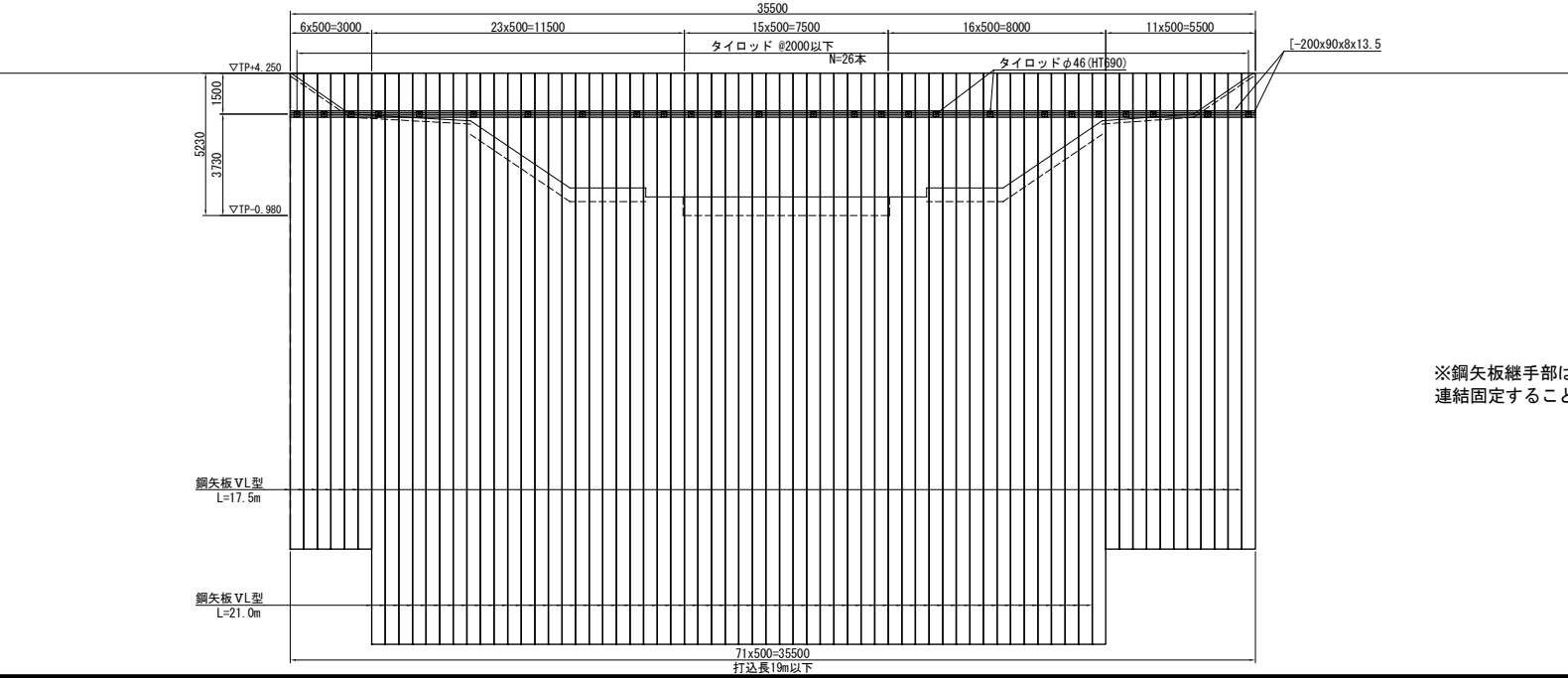
二重締切工詳細図

S=1:100

1 - 1



2 - 2



※鋼矢板継手部は、矢板頭部から50cm程度溶接して連結固定すること。

令和7年度 公共下水道事業			
工事名	皆実雨水排水ポンプ場土木工事 (7-1)		
工事場所	三原市皆実五丁目		
図面番号	2	縮尺	1:100
二重締切工詳細図			
三原市			

－ 参 考 資 料 －

令和 7 年度

皆実雨水排水ポンプ場土木工事(7-1)

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 59 三原市 00-07.10.01(0)	《凡例》 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	32 下水道工事 (3) 02 市街地(DID補正) 00 補正なし 09 閉所型・月単位 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
処理場・ポンプ場					Y1I06 レベル1
本体仮設工	1	式			Y1I0605 レベル2
土留・仮締切工	1	式			Y1I060501 レベル3
仮設鋼矢板(二重締切)	1	式			Y1I06050101 レベル4
継鋼矢板圧入 (Nmax≤50) 陸上施工 5L型 圧入長(m)_19以下(15超) 継施工1箇所	13	枚			V0001 00 単第0 -0001 表
継鋼矢板圧入(Nmax≤25) 陸上施工 5L型 圧入長(m)_23以下(19超) 継施工1箇所	41	枚			S0441 00 単第0 -0004 表
継鋼矢板圧入(Nmax≤50) 陸上施工 5L型 圧入長(m)_23以下(19超) 継施工1箇所	35	枚			V0002 00 単第0 -0007 表
油圧式杭圧入引抜機据付・解体 圧入 (Nmax≤25) VL型	1	回			S0458 00 単第0 -0008 表

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
油圧式杭圧入引抜機据付・解体 圧入 (50<Nmax≤180) VL型	2	回			S0458 00 単第0 -0009 表
鋼矢板賃料 VL型 賃料期間100日	116.0	t			F0002 00
鋼矢板 不足弁償金 (中古)	67.0	t			F0004 00
既設鋼矢板賃料費 共通仮設費[対象外], 現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0046
既設鋼矢板賃料 賃料期間179日	110.6	t			F0007 00
タイロッド・腹起し	8.4	t			Y1I06050106レベル4
タイロッド・腹起し設置	8.4	t			SHD10021 00 単第0 -0010 表
タイロッド φ46*5350 77°セット加工 ロッド2本+ターンバックル1組+定着ナット2組	26	組			F0001 00
溝形鋼 [-200*90*8*13.5	5.2	t			F0003 00

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
広幅平鋼 PL12*200	0.2	t			F0005 00
中詰盛土	600	m3			Y1I06050110レベル4
路体(築堤)盛土 施工幅員2.5m以上4.0m未満	600	m3			SPK25040004 00 単第0 -0011 表
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	390	m3			SPK25040007 00 単第0 -0012 表
購入土	270	m3			V0004 00 単第0 -0013 表
構造物撤去工	1	式			Y1E0112 レベル2
構造物取壊し工	1	式			Y1E011206 レベル3 F=0.37
コンクリート構造物取壊し 無筋Co	3	m3			Y1E01120601レベル4
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工	3	m3			SDT00031 00 単第0 -0015 表

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
根固め袋撤去	36	個			Y1E01120613レベル4
消波根固め袋横取り 2.5t以下 ブロック移動距離12m以下	36	個			SPK25040165 00 単第0 -0016 表
大型土のう撤去	1	式			Y4999 レベル4
大型土のう撤去 設置作業半径_6mを超え20m以下	63	袋			S1050057 00 単第0 -0017 表
運搬処理工	1	式			Y1E011216 レベル3
殻運搬 無筋Co殻	3	m3			Y1E01121601レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離5.7km以下(3.3km超)	3	m3			SPK25040155 00 単第0 -0018 表
殻処分 無筋Co殻	3	m3			Y1E01121602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
受入費 無筋Co殻	7	t			F9001 00
残土処理工	1	式			Y1I060405 レベル3
残土処理	60	m3			Y1I06040501レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離5.5km以下(4.5km超)	60	m3			SPK25040002 00
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					単第0 -0019 表 #0041
受入費 土砂	60	m3			F9002 00
仮設工	1	式			Y1J0101 レベル2
汚濁防止工	1	式			Y1J010115 レベル3
汚濁防止フェンス 設置・撤去	50	m			Y1J01011501レベル4 F=0.37

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
汚濁防止フェンス工 設置・撤去	50	m			S1050001 00 単第0 -0020 表
汚濁防止フェンス賃料 単独フロートφ300 カーテン#300 高3 L=50m 賃料期間96日	1	式			F0006 00
敷鉄板	1	式			Y4999 レベル4
敷鉄板賃料 22×1524×3048,802kg/枚 賃貸期間93日	4	枚			S1050029 00 単第0 -0024 表
敷鉄板賃料 22×1524×6096,1604kg/枚 賃貸期間93日	32	枚			S1050029 00 単第0 -0025 表
敷鉄板設置	316	m2			S1050041 00 単第0 -0026 表
敷鉄板撤去	316	m2			S1050043 00 単第0 -0028 表
交通管理工	1	式			Y1J010121 レベル3
交通誘導警備員	1	式			Y1J01012101レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員A					R0368 00
	56	人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	112	人			
※※直接工事費※※ #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
運搬費					Z0004
運搬費					YZZ04 レベル2
	1	式			
運搬費					YZZ04001 レベル3
	1	式			
重建設機械分解組立輸送費					YZZ04001003レベル4
	1	回			
重建設機械分解組立輸送 クローラクレーン系 35t吊超え80t吊以下					S1000017 00
	1	回			単第0 -0029 表
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 34.2km 製品長 12m超～15m以内					S1000007 00
	1	式			単第0 -0030 表

本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
安全費					Z0009
安全費					YZZ09 レベル2
安全費	1	式			YZZ09001 レベル3
安全管理員	1	式			YZZ09001004レベル4
軌道4項目測定 軌間、高低、通り、水準	1	式			V0003 00
	3	回			単第0 -0033 表
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額……… 率………					
共通仮設費計					
純工事費					

本工事費 内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					
※※工事原価※※					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
※※工事価格※※					
※※消費税相当額※※ 計算情報…… 対象額…… 率……					
※※工事費計※※					
※※契約保証費計※※					

施工単価表

継鋼矢板圧入 (Nmax≤50)
陸上施工 5L型

V0001
圧入長(m) 19以下(15超) 継施工1箇所

単第0 -0001 表

10

枚 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	6.25	人			
特殊作業員	6.25	人			
とび工	12.5	人			
溶接工	6.25	人			
継施工費 鋼矢板VL型	10	箇所			
機-24_油圧式杭圧入引抜機運転 硬質地盤専用圧入機 広幅鋼矢板用 800kN 排出ガス対策型3次基準	6.25	日			単第0-0002 表
機-18_ラフテレーンクレーン運転 50～51t吊 排出ガス対策型2011年規制	6.25	日			単第0-0003 表
雑材料	18	%			#09
*** 合計 ***	10	枚			
*** 単位当たり ***	1	枚			

施工単価表

頁0 -0012

**機-24_油圧式杭圧入引抜機運転
硬質地盤専用圧入機 広幅鋼矢板用 800kN**

S9128

排出ガス対策型3次基準

單第0 -0002 表

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0013

機-18_ラフテレーンクレーン運転
50～51t吊

S9000053

單第0 -0003 表

排出ガス対策型2011年規制

目 当り

[illegible]

施工単価表

継鋼矢板圧入(Nmax≦25)
陸上施工 5L型

S0441
圧入長(m)_23以下(19超) 継施工1箇所

単第0 -0004 表

10 枚 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.923	人			
特殊作業員	1.923	人			
とび工	3.846	人			
溶接工	3.846	人			
継施工費 鋼矢板VL型	10.000	箇所			10*1
機-24_油圧式杭圧入引拔機運転 広幅鋼矢板_1,000kN 排出ガス対策型3次基準	1.923	日			単第0-0005 表 10/5.2
機-18_ラフテレーンクレーン運転 25t吊 排出ガス対策型3次基準	1.923	日			単第0-0006 表 10/5.2
諸雑費	4	%			#09
*** 合計 ***	10	枚			
*** 単位当たり ***	1	枚			
A=1 陸上施工 C=8 圧入長(m)_23以下(19超)			B=4 5L型 D=1 継施工1箇所		

施工単価表

頁0 -0015

繼鋼矢板圧入 ($N_{max} \leq 25$)

S0441

單第0 -0004 表

陸上施工 5L型

圧入長(m)_23以下(19超) 継施工1箇所

10

枚 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0016

機-24_油圧式杭圧入引抜機運転
広幅鋼矢板_1,000kN

S9128

單第0 -0005 表

排出ガス対策型3次基準

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0017

機-18_ラフテレーンクレーン運転
25t吊

S9000053
排出ガス対策型3次基準

單第0 -0006 表

目 当り

[illegible]

施工単価表

継鋼矢板圧入(Nmax≤50)
陸上施工 5L型

V0002
圧入長(m) 23以下(19超) 継施工1箇所

単第0 -0007 表

10

枚 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	6.67	人			
特殊作業員	6.67	人			
とび工	13.34	人			
溶接工	6.67	人			
継施工費 鋼矢板VL型	10	箇所			
機-24_油圧式杭圧入引抜機運転 硬質地盤専用圧入機 広幅鋼矢板用 800kN 排出ガス対策型3次基準	6.67	日			単第0-0002 表
機-18_ラフテレーンクレーン運転 50～51t吊 排出ガス対策型2011年規制	6.67	日			単第0-0003 表
諸雑費	18	%			#09
*** 合計 ***	10	枚			
*** 単位当たり ***	1	枚			

施工単価表

油圧式杭圧入引抜機据付・解体
圧入 (Nmax≤25)

S0458

単第0 -0008 表

1

回 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.290	人			
特殊作業員	0.290	人			
とび工	0.580	人			
機-24_油圧式杭圧入引抜機運転 広幅鋼矢板_1,000kN 排出ガス対策型3次基準	0.250	日			単第0-0005 表
機-18_ラフテレーンクレーン運転 25t吊 排出ガス対策型3次基準	0.300	日			単第0-0006 表
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	回			
A=1 圧入 (Nmax≤25) C=1 陸上施工			B=4 VL型		

施工単価表

油圧式杭圧入引抜機据付・解体
圧入 (50<Nmax≤180)

S0458

単第0 -0009 表

VL型

1

回 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.100	人			
特殊作業員	1.100	人			
とび工	2.190	人			
機-24_油圧式杭圧入引抜機運転 硬質地盤専用圧入機 広幅鋼矢板用 800kN 排出ガス対策型3次基準	0.590	日			単第0-0002 表
機-18_ラフテレーンクレーン運転 50～51t吊 排出ガス対策型2011年規制	0.900	日			単第0-0003 表
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	回			
A=3 圧入 (50<Nmax≤180) C=1 陸上施工			B=4 VL型		

施工単価表

タイロッド・腹起し設置

SHD10021

単第0 -0010 表

頁0 -0021

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	4.900	人			
とび工	9.900	人			
溶接工	4.900	人			
普通作業員	4.900	人			
<作>クローラクレーン(油圧駆動式ウィンチ) (ラチスジブ型)55t吊,オペレータ付 排ガス(第1,2次)低騒音(分解,組立が必要)	4.900	日			
諸雑費	10	%			#09
*** 合計 ***	10	t			
*** 単位当たり ***	1	t			
A=2 材料別途 G=5 クローラクレーン(油圧駆動式)55t吊			F=2 別途機械・規格を考慮する		

施工単価表

頁0 -0022

路体(築堤)盛土
施工幅員2.5m以上4.0m未満
機械構成比: 15.30%

SPK25040004

単第0 -0011 表

1
標準単価: m3 当り
857.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックハウ(クローラ型) 山積0.28m3(平積0.2) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	8.01%		バックハウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00054 KTPT00054
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	7.29%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
運転手(特殊)	67.28%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	8.88%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	8.54%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 施工幅員2.5m以上4.0m未満					

施工単価表

積込(ルーズ)
土砂
機械構成比: 42.39%
労務構成比: 38.74%
材料構成比: 18.87%
市場単価構成比: 0.00%

SPK25040007
土量50,000m3未満

単第0 -0012 表
標準単価: 240.90000
1 m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2014 山積0.8/平積0.6m3	42.39%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2014 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00153 MTPT00153
運転手(特殊)	38.74%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	18.87%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=1 土量50,000m3未満		

施工単価表

頁0 -0024

購入土

V0004

單第0 -0013 表

1 m3 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0025

土砂等運搬

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

機械構成比: 44.67%

SPK25040002

DID区間有り 距離5.0km以下(3.5km超)

労務構成比: 40.44%

材料構成比: 14.89%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0014 表

1

標準単価:

m3 当り

1,050.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.67%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	40.44%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=15 距離5.0km以下(3.5km超)			B=1 バックハウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=2 DID区間有り		

施工単価表

頁0 -0026

構造物とりこわし工(無筋構造物)

SDT00031

單第0 -0015 表

機械施工

m3

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0027

消波根固め袋横取り

SPK25040165

単第0 -0016 表

2.5t以下

ブロック移動距離12m以下

1

個 当り

機械構成比: 9.12%

労務構成比:

81.14%

材料構成比:

9.74%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

2,186.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014	9.12%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
土木一般世話役 設計労務単価の補正割増し(1.37)	22.15%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊) 設計労務単価の補正割増し(1.37)	20.62%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員 設計労務単価の補正割増し(1.37)	20.19%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員 設計労務単価の補正割増し(1.37)	18.12%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	9.74%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=1 2.5t以下 据付面高さ-3m≤H≤3m			B=1 ブロック移動距離12m以下		

施工単価表

頁0 -0028

消波根固め袋横取り

SPK25040165

單第0 -0016 表

2.5t以下

ブロック移動距離12m以下

1

個 当り

機械構成比: 9.12%

勞務構成比：

81.14%

材料構成比: 9.74%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

2,186.20000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0029

大型土のう撤去
設置作業半径_6mを超え20m以下

S1050057

單第0 -0017 表

10

袋 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0030

殻運搬
Co(無筋)構造物とりこわし
機械構成比: 40.77% 労務構成比: 44.82% 材料構成比: 14.41% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040155
DID区間有り 運搬距離5.7km以下(3.3km超)

単第0 -0018 表
1
標準単価: 1,527.20000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		40.77%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)			MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)		44.82%		運転手(一般)			RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油		14.41%		軽油パトロール給油			TTPC00013 TTPT00013
積算単価				積算単価			EP001
A=1 C=2 E=1	Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り -(全ての費用)			B=1 D=25	機械積込 運搬距離5.7km以下(3.3km超)		

施工単価表

頁0 -0031

土砂等運搬
小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)
機械構成比: 26.52% 労務構成比: 61.90% 材料構成比: 11.58% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040002
DID区間有り 距離5.5km以下(4.5km超)

単第0 -0019 表
1
標準単価: 2,097.10000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	26.52%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	61.90%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.58%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=26 距離5.5km以下(4.5km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=2 DID区間有り		

施工単価表

汚濁防止フェンス工
設置・撤去

S1050001

単第0 -0020 表

100 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
汚濁防止フェンス設置・撤去 設置	100.000	m			単第0-0021 表
汚濁防止フェンス設置・撤去 撤去	100.000	m			単第0-0023 表
汚濁防止フェンス 別途計上	100	m			
アンカー工(ブロック・ワイヤ)	10.000	%			#01
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3 設置・撤去			B=1 汚濁防止フェンス賃料【登録単価CODE】(m)		

施工単価表

頁0 -0033

汚濁防止フェンス設置・撤去 設置

S1050037

單第0 -0021 表

100 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0034

機-28_バックホウ運転(賃料)
クレーン付2.9t吊_山積0.8m3

S9035

單第0 -0022 表

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0035

汚濁防止フェンス設置・撤去
撤去

S1050037

單第0 -0023 表

100

m

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0036

敷鉄板賃料

S1050029

單第0 -0024 表

$$\underline{22 \times 1524 \times 3048, 802 \text{kg/枚}}$$

貸貸期間93日

枚 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0037

敷鉄板賃料

S1050029

單第0 -0025 表

$22 \times 1524 \times 6096, 1604 \text{kg/枚}$

貸貸期間93日

枚 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0038

敷鉄板設置

S1050041

單第0 -0026 表

100m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0039

機-28_バックホウ運転(賃料)
クレーン付2.9t吊_山積0.8m3

S9035

單第0 -0027 表

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0040

敷鉄板撤去

S1050043

單第0 -0028 表

100

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0041

重建設機械分解組立輸送 クローラクレーン系

S1000017
35t吊超え80t吊以下

單第0 -0029 表

1 回 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0042

仮設材等(鋼矢板, H鋼, 覆工板, 敷鉄板等)運搬

S1000007

單第0 -0030 表

運搬距離 34.2km

製品長 12m超～15m以内

1 式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0043

基本運賃

S1000009

單第0 -0031 表

運搬距離 34.2km

製品長 12m超～15m以内 運搬質量 183t

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0044

積込み,取卸しに要する費用

S1000009

單第0 -0032 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0045

軌道4項目測定 軌間、高低、通り、水準

V0003

單第0 -0033 表

1

回 当り

[illegible]

[illegible]

計 第 表		二重締切工土工			計 算 書			
測 点	距 離	中 詰 土 B						摘 要
		面 積	平 均	立 積	面 積	平 均	立 積	
1-1		181.9						
2-2	4.0	116.3	149.10	596.4				

[illegible][illegible]

(No.)

[illegible]

仮設工数量総括表

[illegible]

(1) 材料表

種別	寸 法	長 さ	本数	単位重量 (kg/m)	1 本当り重量 (t)	重 量 (t)	材 質	摘 要
矢板								
鋼矢板	VL型	17.500	13	105.00	1.838	23.894	SY295	
	〃	21.000	76	105.00	2.205	167.580	〃	
小 計 191.474 (t)								
※異径鋼矢板支給17.5m=1枚 (1.838t), 21.0m=3枚(6.615t)								
※リース：116.025t, 買取：66.996 t								
タイロッド								
タイロッド	φ46	2.675	52	13.00	0.035	1.820	HT690	
小 計 1.820 (t)								
支保工								
[	[-200x90x8x13.5	5.170	2	30.30	0.157	0.314	SS400	腹起し
〃	〃	14.830	2	30.30	0.449	0.898	〃	〃
〃	〃	11.830	2	30.30	0.358	0.716	〃	〃
〃	〃	11.330	2	30.30	0.343	0.686	〃	〃
〃	〃	7.670	2	30.30	0.232	0.464	〃	〃
〃	〃	2.920	2	30.30	0.088	0.176	〃	〃
〃	〃	11.330	2	30.30	0.343	0.686	〃	〃
〃	〃	7.330	2	30.30	0.222	0.444	〃	〃
〃	〃	7.830	2	30.30	0.237	0.474	〃	〃
〃	〃	5.420	2	30.30	0.164	0.328	〃	〃
小 計 5.186 (t)								
×0.22 副部材(A)						1.141	(t)	
×0.04 副部材(B)						0.207	(t)	

(2) 打込み・引抜き

1) 鋼矢板打込み

圧入工法

NO.	矢板長	打込長	VL型 (枚)			最大 N値
1	L=17.5	19m以下	13	クラッシュパ [®] イラー		50
2	L=21.0	23m以下	41	サイレントパ [®] イラー		13
3	L=21.0	23m以下	35	クラッシュパ [®] イラー		50
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
合計			89			

2) 鋼矢板引抜き

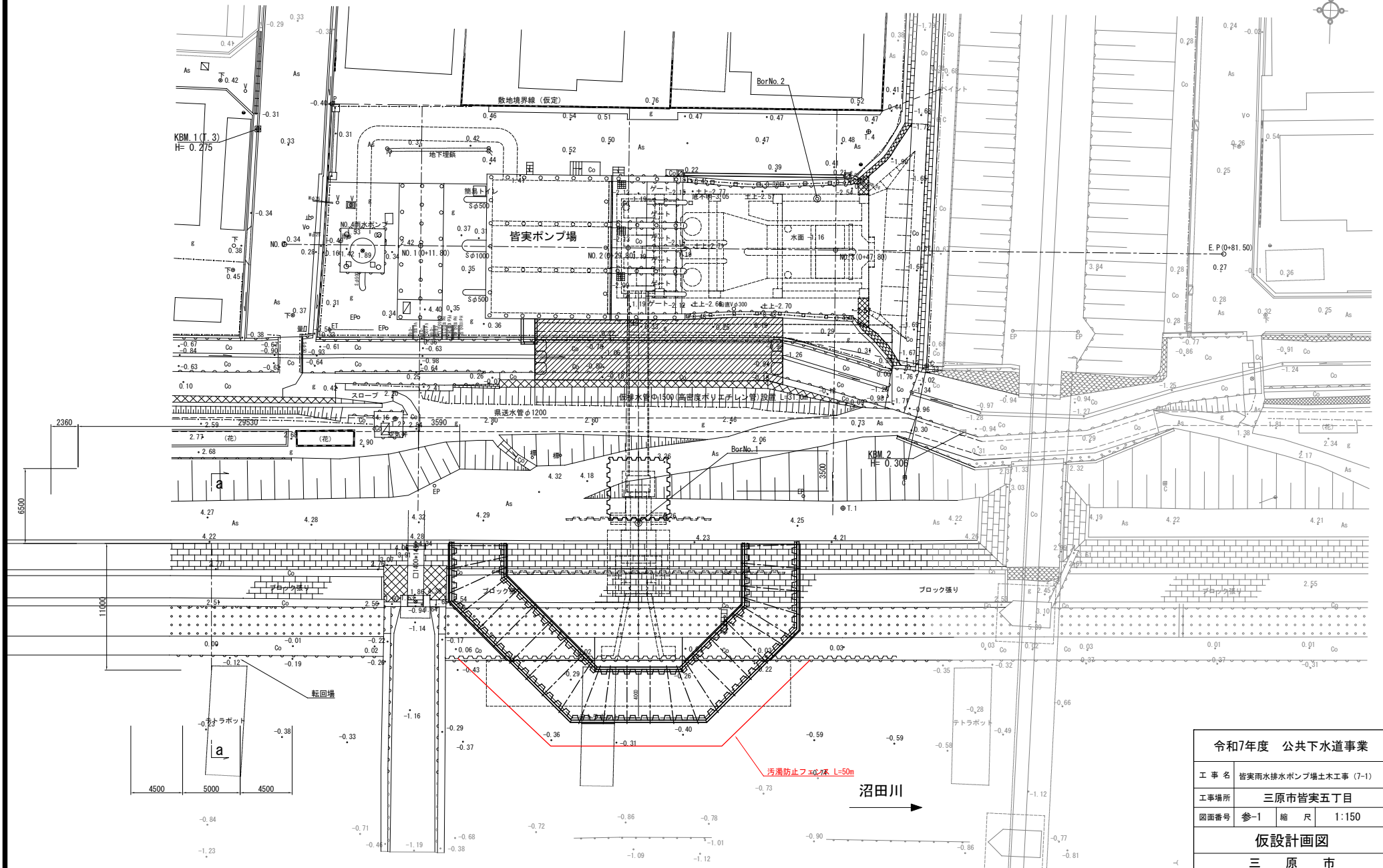
圧入工法

NO.	矢板長	引抜長	VL型 (枚)			最大 N値
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
合計			0			

[illegible]

平面図

S=1:150



令和7年度 公共下水道事業

工事名 皆実雨水排水ポンプ場土木工事 (7-1)

工事場所 三原市皆実五丁目

図面番号 参-1 縮尺 1:150

仮設計画図

三原市

